

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	自動車整備科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1, 937 単位時間／単位	689 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1, 248 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間/ 単位
			1, 937 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		111 人	36 人	0 人	14 人	14 人	
人数は 2025 年 5 月 1 日時点のものを記載している 自動車整備科、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科の 1・2 年次は同一授業のため全教員が兼任している							
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） ・学年の基準修業週は 45 週とし 1 週間の修業時限は原則として 20 時限とする。 ・1 時限は 80 分とし、1 教育単位時間 50 分とする。 ・1 年次：960 時間、2 年次：977 時間の専門教育を行う。 ・授業計画作成ガイドライン(※1)に基づき、専門科目全てのシラバスを作成し、年度初め迄に学校ホームページ及び学生端末(※2)に掲載し、外部及び学生に公開している。							

※1 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2025/06/41fdc90140ca8389f23ce92ca62d7ece.pdf ※2 Google Workspace for Education の web サービス「Google Classroom」
成績評価の基準・方法
(概要) 学習評価は教科ごとに試験を行い、合格すればその教科を履修したと認める。可否の判定は下記「判定基準」により行う。 〈判定基準〉 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。 2) 学科、実習共に成績得点が 60 点以上を合格とします。 ただし、資格取得のための特定の教科においては、80 点以上を合格とします。 3) 成績得点を基に評定(優・良・可)、成績順位が決められます。 優：80 点以上、良：60 点以上、可：60 点未満とします。 4) 評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の授業時間数を満たした場合に決められます。
卒業・進級の認定基準
(概要) 進級・卒業認定方針に基づき、すべての専門教育科目の履修を確認したうえで、授業態度、出席状況等を鑑み、進級・卒業を認定する。(ディプロマポリシー) 一種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に文部科学大臣告示による専門士(工業専門課程)を授与する 1. 資格 ① 国家二級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、整備士として基本的な自動車整備作業ができる 2. 技術 ① 日産 3 級整備士資格を取得できる知識と技術を有している ② 日産資格制度の日産 3 級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CS マインドを身に付け、一連のお客様対応スキルを身に付けている 3. 人間力 ① 自主性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に取り組む姿勢を身に付けている ② チームの一員として共同作業のベースとなるコミュニケーション力を有している ③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる
学修支援等
(概要) ・クラス担任による本人面談・三者面談、学修相談 ・教科担当による補習授業 ・学年統括による生活指導 ・専門カウンセラーによるカウンセリング ・学生動向の学年情報共有など

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31 人 (100%)	1 人 (3.2%)	29 人 (93.6%)	1 人 (3.2%)
（主な就職、業界等） ・日産圏企業をはじめとした自動車開発・研究・製造メーカー ・日産販売会社をはじめとした自動車整備業界、など			
（就職指導内容） ・オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育 ・外部講師によるキャリア育成教育 ・就職先採用担当者による就職ガイダンスなど			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・国家２級自動車整備士（ガソリンエンジン、ジーゼルエンジン） ・日産３級テクニカルスタッフ（T/S）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
86 人	7 人	8.1%
（中途退学の主な理由） 学力不振、進路変更、経済理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・クラス担任による定期的な個人面談 ・専門カウンセラーによるカウンセリングなど		

<自動車整備・ボディリペア科>

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程	自動車整備・ボディリペア科	○			
修業 年限	昼 夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2,914	953		1,961		
		単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間/ 単位	
		単位時間／単位	2,914 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
105 人	46 人	2 人	0 人	16 人	16 人
人数は 2025 年 5 月 1 日時点のものを記載している 自動車整備科、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科の 1 年次・2 年次の兼任 14 人、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科の 3 年次兼任 2 人					

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ・学年の基準修業週は 45 週とし 1 週間の修業時限は原則として 20 時限とする。 ・1 時限は 80 分とし、1 教育単位時間 50 分とする。 ・1 年次：960 時間、2 年次：977 時間、3 年次 977 時間の専門教育を行う。 ・授業計画作成ガイドライン(※1)に基づき、専門科目全てのシラバスを作成し、年度初め迄に学校ホームページ及び学生端末(※2)に掲載し、外部及び学生に公開している。 ※1 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2025/06/41fdc90140ca8389f23ce92ca62d7ece.pdf ※2 Google Workspace for Education の web サービス「Google Classroom」
成績評価の基準・方法
(概要) 学習評価は教科ごとに試験を行い、合格すればその教科を履修したと認める。可否の判定は下記「判定基準」により行う。 〈判定基準〉 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。 2) 学科、実習共に成績得点が 60 点以上を合格とします。 ただし、資格取得のための特定の教科においては、80 点以上を合格とします。 3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。 優：80 点以上、良：60 点以上、可：60 点未満とします。 4) 評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の授業時間数を満たした場合に決められます。
卒業・進級の認定基準
(概要) 進級・卒業認定方針に基づき、すべての専門教育科目の履修を確認したうえで、授業態度、出席状況等を鑑み、進級・卒業を認定する。(ディプロマポリシー) 〈1・2 年次〉 一種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に修了証書を授与する 1. 資格 ① 国家二級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、整備士として基本的な自動車整備作業ができる

2. 技術 ① 日産3級整備士資格を取得できる知識と技術を有している ② 日産資格制度の日産3級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CS マインドを身に付け、一連のお客様対応スキルを身に付けている 3. 人間力 ① 自主性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に取り組む姿勢を身に付けている ② チームの一員として共同作業のベースとなるコミュニケーション力を有している ③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる 〈3年次〉 一種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に卒業証書を授与する 1. 資格 ① 国家車体整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、車体整備士として基本的な自動車板金塗装作業ができる 2. 技術 ① 日産サービス技術習得制度の日産3級車体士、塗装士資格を取得できる知識と技術を有している ② 日産サービス技術習得制度の日産1級、2級の車体士、塗装士の知識を備え、尚且つ、日産サービス技術習得制度の日産3級車体士、塗装士の技術能力要件項目に沿った内容の作業ができる。 3. 人間力 ① 主体性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に行動できる ② チームの一員としてコミュニケーションを取りながら、協調と協力して共同作業ができる ③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる			
学修支援等			
(概要) ・クラス担任による本人面談・三者面談、学修相談 ・教科担当による補習授業 ・学年統括による生活指導 ・専門カウンセラーによるカウンセリング ・学生動向の学年情報共有など			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	11人 (91.7%)	1人 (8.3%)
(主な就職、業界等) ・日産圏企業をはじめとした自動車開発・研究・製造メーカー ・日産販売会社をはじめとした自動車整備業界、など			

(就職指導内容) ・オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育 ・外部講師によるキャリア育成教育 ・就職先採用担当者による就職ガイダンスなど
(主な学修成果（資格・検定等）) ・国家２級自動車整備士（ガソリンエンジン、ディーゼルエンジン） ・国家車体整備士 ・日産３級テクニカルスタッフ（T/S）、日産３級塗装士、日産３級車体整備士

＜自動車整備・カスタマイズ科＞

※1 [https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-](https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2025/06/41fdc90140ca8389f23ce92ca62d7ece.pdf)

content/uploads/2025/06/41fdc90140ca8389f23ce92ca62d7ece.pdf

※2 Google Workspace for Education の web サービス「Google Classroom」

成績評価の基準・方法

(概要)

学習評価は教科ごとに試験を行い、合格すればその教科を履修したと認める。合否の判定は下記「判定基準」により行う。

〈判定基準〉

- 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。
- 2) 学科、実習共に成績得点が 60 点以上を合格とします。
ただし、資格取得のための特定の教科においては、80 点以上を合格とします。
- 3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。
優：80 点以上、良：60 点以上、可：60 点未満とします。
- 4) 評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の授業時間数を満たした場合に決められます。
ただし、4 年次は授業時間数の 80%以上を満たした場合とします。

卒業・進級の認定基準

(概要)

進級・卒業認定方針に基づき、すべての専門教育科目の履修を確認したうえで、授業態度、出席状況等を鑑み、進級・卒業を認定する。(ディプロマポリシー)

〈1・2 年次〉

一種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に修了証書を授与する

1. 資格

- ① 国家二級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、整備士として基本的な自動車整備作業ができる

2. 技術

- ① 日産 3 級整備士資格を取得できる知識と技術を有している
- ② 日産資格制度の日産 3 級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CS マインドを身に付け、一連のお客様対応スキルを身に付けている

3. 人間力

- ① 自主性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に取り組む姿勢を身に付けている
- ② チームの一員として共同作業のベースとなるコミュニケーション力を有している
- ③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

〈3 年次〉

一種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に修了証書を授与する

1. 資格 ① 国家車体整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、車体整備士として基本的な自動車板金塗装作業ができる 2. 技術 ① 日産サービス技術習得制度の日産3級車体士、塗装士資格を取得できる知識と技術を有している ② 日産サービス技術習得制度の日産1級、2級の車体士、塗装士の知識を備え、尚且つ、日産サービス技術習得制度の日産3級車体士、塗装士の技術能力要件項目に沿った内容の作業ができる。 3. 人間力 ① 主体性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に行動できる ② チームの一員としてコミュニケーションを取りながら、協調と協力して共同作業ができる ③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる 〈4年次〉 カスタムカー製作のノウハウを習得し、その製作プロセスから主体性を基本とした積極性やリーダーシップを培った者に卒業証書を授与する 1. 資格 ① 国家2級金属塗装士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、車体整備士として高度な知識と技術を有している 2. 技術 ① 豊かな創造力でカスタムカーをデザインすることができる ② 車体整備の知識と技術によって、カスタムカーのデザインから製作までを計画的に行うことができる ③ 対外的な交渉を行うためのプレゼンテーションと折衝のスキルを身につけている 3. 人間力 ① 主体性を基に自ら学ぶ意欲及び探究心を持って学習し、自ら目標を掲げて行動できる ② 組織の中で自分の役割を理解し、主体的に課題を解決する行動力を身に付けている ③ 相手の気持ちや考えを理解するコミュニケーション力を持ち、チーム全体をリードしていく意思がある ④ 積極的に社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる
学修支援等
(概要) ・クラス担任による本人面談・三者面談、学修相談 ・教科担当による補習授業 ・学年統括による生活指導 ・専門カウンセラーによるカウンセリング ・学生動向の学年情報共有など

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15 人 (100%)	0 人 (0%)	15 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) ・日産圏企業をはじめとした自動車開発・研究・製造メーカー ・日産販売会社をはじめとした自動車整備業界、など			
(就職指導内容) ・オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育 ・外部講師によるキャリア育成教育 ・就職先採用担当者による就職ガイダンスなど			
(主な学修成果(資格・検定等)) ・国家 2 級自動車整備士 (ガソリンエンジン、ディーゼルエンジン) ・国家車体整備士 ・日産 3 級テクニカルスタッフ(T/S)、日産 3 級塗装士、日産 3 級車体整備士 ・国家金属塗装士 ・カラーコーディネーター (スタンダードクラス・アドバンスクラス)			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の 数	中退率
69 人	2 人	2.9%
(中途退学の主な理由) 学力不振、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・クラス担任による定期的な個人面談 ・専門カウンセラーによるカウンセリングなど		

<一級自動車工学科>

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	一級自動車工学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	4, 094	1, 161		2, 933		
		単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位	
		単位時間／単位	4, 094 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
300 人		160 人	5 人	7 人	14 人	21 人	
人数は 2025 年 5 月 1 日時点のものを記載している							
自動車整備科、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科、一級自動車工学科の 1・2 年次は同一授業のため全教員が兼任している							

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ・学年の基準修業週は 45 週とし 1 週間の修業時限は原則として 20 時限とする。 ・1 時限は 80 分とし、1 教育単位時間 50 分とする。 ・1 年次：960 時間、2 年次：977 時間、3 年次 1, 024 時間、4 年次 1, 133 時間の専門教育を行う。 ・授業計画作成ガイドライン(※1)に基づき、専門科目全てのシラバスを作成し、年度初め迄に学校ホームページ及び学生端末(※2)に掲載し、外部及び学生に公開している。 ※1 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2025/06/41fdc90140ca8389f23ce92ca62d7ece.pdf ※2 Google Workspace for Education の web サービス「Google Classroom」
成績評価の基準・方法
(概要) 学習評価は教科ごとに試験を行い、合格すればその教科を履修したと認める。合否の判定は下記「判定基準」により行う。 〈判定基準〉 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。 2) 学科、実習共に成績得点が 70 点以上を合格とします。 ただし、資格取得のための特定の教科においては、80 点以上を合格とします。 3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。 優：80 点以上、良：70 点以上、可：70 点未満とします。 4) 評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の授業時間数を満たした場合に決められます。

卒業・進級の認定基準
(概要) 進級・卒業認定方針に基づき、すべての専門教育科目の履修を確認したうえで、授業態度、出席状況等を鑑み、進級・卒業を認定する。(ディプロマポリシー) 〈1・2年次〉 一種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に修了証書を授与する 1. 資格 ① 国家二級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、整備士として基本的な自動車整備作業ができる 2. 技術 ① 日産3級整備士資格を取得できる知識と技術を有している ② 日産資格制度の日産3級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CSマインドを身に付け、一連のお客様対応スキルを身に付けている 3. 人間力 ① 自主性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に取り組む姿勢を身に付けている ② チームの一員として共同作業のベースとなるコミュニケーション力を有している ③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる 〈3・4年次〉 一種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に文部科学大臣告示による高度専門士(工業専門課程)を授与する 1. 資格 ① 国家一級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、自動車エンジニアとして高度で総合的な知見を有している 2. 技術 ① 日産2級整備士資格の学科試験に合格できる知識を有している ② 日産資格制度の日産2級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CSマインドを身に付け、一連のお客様対応スキルにより、お客様満足を優先する対応ができる ③ 企業経営に関する知識を身に付け、業務効率の重要性を理解している 3. 人間力 ① 主体性を基に自ら学ぶ意欲及び探究心を持って学習し、自ら目標を掲げて行動できる ② 組織の中で自分の役割を理解し、主体的に課題を解決する行動力を身に付けている ③ 相手の気持ちや考えを理解するコミュニケーション力を持ち、チーム全体をリードしていく意思を有している ④ 積極的に社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

学修支援等			
(概要) ・ クラス担任による本人面談・三者面談、学修相談 ・ 教科担当による補習授業 ・ 学年統括による生活指導 ・ 専門カウンセラーによるカウンセリング ・ 学生動向の学年情報共有など			
卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
45 人 (100%)	0 人 (0%)	45 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) ・ 日産圏企業をはじめとした自動車開発・研究・製造メーカー ・ 日産販売会社をはじめとした自動車整備業界、など			
(就職指導内容) ・ オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育 ・ 外部講師によるキャリア育成教育 ・ 就職先採用担当者による就職ガイダンスなど			
(主な学修成果(資格・検定等)) ・ 国家 2 級自動車整備士 (ガソリンエンジン、ディーゼルエンジン) ・ 国家 1 級小型自動車整備士 ・ 日産 3 級テクニカルスタッフ (T/S)、日産 2 級テクニカルスタッフ (T/S) ・ 日産 3 級テクニカルアドバイザー (T/A)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
172 人	7 人	4.1%
(中途退学の主な理由) 学力不振、進路変更、交通事故		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・ クラス担任による定期的な個人面談 ・ 交通安全教育 ・ 専門カウンセラーによるカウンセリングなど		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	学年	入学金	授業料(年間)	その他	備考(任意記載事項)
自動車整備科	1 年次	240,000 円	642,000 円	649,000 円	入学検定料 25,000 円
自動車整備・ボディリペア科					施設設備費 230,000 円 実験実習費 180,000 円 学生諸費用預り金 214,000 円
自動車整備・カスタマイズ科	2 年次	—	642,000 円	534,000 円	施設設備費 230,000 円 実験実習費 180,000 円 学生諸費用預り金 124,000 円
一級自動車工学科					
自動車整備・ボディリペア科	3 年次	—	642,000 円	666,000 円	施設設備費 230,000 円 実験実習費 220,000 円 学生諸費用預り金 216,000 円
自動車整備・カスタマイズ科					
自動車整備・カスタマイズ科	4 年次	—	642,000 円	696,000 円	施設設備費 230,000 円 実験実習費 220,000 円 学生諸費用預り金 246,000 円
一級自動車工学科	3 年次	—	642,000 円	680,000 円	施設設備費 230,000 円 実験実習費 270,000 円 学生諸費用預り金 180,000 円
	4 年次	—	642,000 円	624,000 円	施設設備費 230,000 円 実験実習費 270,000 円 学生諸費用預り金 124,000 円

国際オートメ カニク科	1 年次	240,000 円	460,000 円	495,000 円	入学検定料 25,000 円 施設設備費 230,000 円 実験実習費 130,000 円 学生諸費用預り金 110,000 円
	2 年次	—	460,000 円	470,000 円	施設設備費 230,000 円 実験実習費 130,000 円 学生諸費用預り金 110,000 円
	3 年次	—	460,000 円	470,000 円	施設設備費 230,000 円 実験実習費 130,000 円 学生諸費用預り金 110,000 円
修学支援(任意記載事項)					
① 選抜奨学金 特待生奨学金 : 1 年次授業料 250,000 円免除 遠隔地奨学金 : 1 年次授業料 250,000 円免除 企業推薦奨学金 : 1 年次授業料 250,000 円免除 ② 特別奨学金 留学生特別奨学金 : 1 年次授業料 250,000 円免除 ③ 企業奨学金 日産販売会社奨学金 : 各販売会社が独自の奨学金を支給 リアライズ奨学金 : 2 年間学費 1,000,000 円免除					

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2025/06/6db650663f03d3296152c876b63051cf.pdf		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
実践的かつ専門的な職業教育を実施するにあたり、学校関係者による学校評価を実施し、学校運営の継続的改善を図ることを目的に、地元有識者、企業等委員、卒業生からなる「学校関係者評価委員会」を設ける		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
京都府自動車車体整備協同組合 事務局長	2025. 4. 1～ 2027. 3. 31 (2 年)	団体代表
日産自動車三重販売株式会社 代表取締役社長	2025. 4. 1～ 2027. 3. 31 (2 年)	企業代表
株式会社近畿日産 監査支援部部長	2025. 4. 1～ 2027. 3. 31 (2 年)	企業代表
京都府立田辺高等学校 自動車科学科 長	2025. 4. 1～ 2027. 3. 31 (2 年)	高校代表
正和自動車販売株式会社 会長	2025. 4. 1～ 2027. 3. 31 (2 年)	卒業生代表
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2025/06/a011813108bff8b9e97a1376996b26af.pdf		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
ホームページにて公開
学校ホームページのトップページ
https://www.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/
情報公開のトップページ
https://www.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/infomation.html